

豊中の未来を描こう！！

かんばんこういちろう

神原宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～

発行 2023年4月

VOL.198

皆さまとの
つながりに心から
感謝しています

豊中市議会議員
無所属



関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

3月定例会・代表質問と答弁！！

①粗大ごみのリユース

～ごみの排出削減、リユースの推進を！！～



Q. ここ数年の本市の粗大ごみの処理量は？

A. 平成26年度の**788**トンから徐々に増加し、令和3年度には**1463**トンとなっている。

Q. 民間事業者と連携し、ごみの排出削減やリユースの推進を図るべきではないか？

A. 利用者間で品物の取引が容易にできる情報サイト『**ジモティー**』や、加盟店が品物を査定し買い取るシステム『**おいくら**』を運営する各事業者と連携協定を締結した。「わが家のごみカレンダー」等にQRコードや案内文を掲載するなど多様な方法により、周知や利用促進に努める。

②防犯カメラ（見守りカメラ）の更新

～効果検証を踏まえ、市民の安心、安全の強化を！！～

Q. 市内に設置した1230台の見守りカメラが更新時期になったが、今後の設置の方向性は？

A. 市内の犯罪種別ごとの刑法犯認知件数や検挙件数の推移、警察への見守りカメラ画像データ提供件数の推移など、効果検証の結果を踏まえ、具体的な更新の内容やスケジュールを決める。

効果検証を踏まえ、必要に応じて増設や移設を進めると共に、高機能カメラの設置も検討すべき。

③基金の運用

～戦略の再構築で、新たな歳入確保を！！～

Q. 現在の市の基金残高と保有や運用の方法は？

A. 本年2月時点での基金残高は約300億円。70%が定期預金、28%が普通預金、2%が債権。

大幅な増収増が見込めない中、債券等の購入額を増やすなど、基金を運用し、歳入増を図るべき。

④下水の分析

～新たな技術の感染対策への活用を！！～

Q. 塩野義製薬と島津製作所が共同出資するアドバンセンチネルは、下水を分析し季節性インフルエンザや新型コロナの感染状況を把握するサービスを開始した。本市でも感染症対策をとして活用すべく、積極的に調査、研究するべきではないか？

A. 感染症対策を行う上で、広域で新型コロナウイルス感染症のまん延状況が把握できる可能性があることから、国では今年度、実証事業を行っており、検証結果などを注視していく。

⑤子育て支援の充実

～最大限の少子化対策を!!～

Q. 市長は豊中市の子育て支援をどの程度まで引き上げるべきと考えているか？

給食費の無償化や塾代の助成、多子奨励制度など様々な施策があるが、市長の見解は？

A. 財源に限りがある中で、子どもや子育て家庭の多様なニーズに応えるためには、経済的負担の軽減策は、より必要性の高い子ども・家庭に対して、優先的・重点的に行うべきと考えている。



⑥不登校支援

～子どもたちの居場所と学びの保障を最優先に!!～

Q. 小中学校の不登校児童生徒数の推移は？

A. 本市の小中学校の不登校児童生徒数は、平成28年度から平成30年度の間は減少傾向にあったが、令和元年度より増加傾向に転じ、令和3年度は平成30年度の約2倍となっている。

Q. 不登校や不登校気味の子どもたちの学びの保障について、どのように考えているのか？

A. 各学校では個別の課題を用意し、家庭訪問などして、学びが途切れることのないよう対応しているが、次年度は、別室登校を支援する職員を学校へ派遣する予定。

Q. タブレット等を活用したりリモート授業や学習機会の提供はどの程度しているのか？

フリースクールとの連携や活用について、どのように考えているのか？

A. タブレット端末の活用については、別室登校や家庭学習等で授業内容をオンライン配信するなど、児童生徒の個々の状況に応じて、学校とのつながりに配慮しながら進めている。フリースクールを学校以外での学びの保障の場の一つと捉え、 青少年交流文化館いぶきでの創造活動と連携を取りながら不登校支援対策の機能強化を図っていく。

⑦発達障害など学習困難な子どもへの支援

～誰もが学びやすい環境整備を!!～



Q. 通常学級で発達障害の可能性があると推定される全ての子どもが、必要とされる個別的配慮や支援を受けられているのか？

A. 発達障害に限らず、個々の児童生徒の状態、状況等を把握し、必要な配慮や工夫を行い、補助教材等も活用しながら、きめ細かな指導支援の充実を図っている。また、ICTの効果的な活用は有効な手段の一つと考えており、個別支援の必要な児童生徒に応じた学習支援用アプリを随時導入している。

その他の質問項目

- ・ 新型コロナウイルス対策の振り返りと今後の方針
- ・ 中学校給食の質の改善
- ・ ふるさと納税制度の活用
- ・ 中学校部活動の地域移行の推進
- ・ マチカネポイント事業の活性化
- ・ 小中一貫教育の推進と校区変更
- ・ 産業振興とスタートアップ支援
- ・ (仮称) 中央図書館の選定
- ・ 職員採用試験における不正防止
- ・ 犯罪被害者の支援 など



発行元 前向きひろば ～Positive Square～

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2階
TEL&FAX:06-6854-5664



平日(土・日祝日は除く)の10時から17時はスタッフがおります。

young_spiritjp@yahoo.co.jp

http://positive-square.sakura.ne.jp/

Facebook 活用しています!!

「つながり日記」毎日HPで更新中!!

※ご希望の方には通信を無料でお届けします。お気軽にご連絡ください。

